

踏み跡 <My Mountains>

九州	大分県で一番低い山(碓山)	No.332
----	---------------	--------

<踏み跡 No.331 から続く>

平成 27 年 12 月 14 日

空腹のせいかラーメン屋の看板がやたらに気になる。佐賀大和 IC から長崎自動車道に入り、時計を見ながら東進。最初に出会った金立(きんりゅう) SA でトイレ休憩のついでに豚まんとコーヒーで昼食。鳥栖 JCT から大分自動車道に入ると左の車窓に甘木・夜須(やす)の山々が、右の車窓には田主丸(たぬしまる)周辺の山々が連なるようになってくる。そして日田を過ぎると両側の山なみが車窓にどんどん近付いてくる。時速 95Km 程度のスピードで走り続けながら景色を楽しむのはかなり忙しいが、30 余年前に歩いたことがある山がいくつもいくつも見えて懐かしくて嬉しくてたまらない。どこかで止まってゆっくり景色を楽しみたい心境ではあったが、夕暮れまでに碓山に登らなければならないので、そうもいかない。

九重(くじゅう)の山々を遠望し、由布岳(ゆふだけ)が間近に迫ってくるようになり大分が近くなってきたことを実感。

日出 JCT まで来ると眼下に別府湾が広がってきた。海を見下ろす別府湾 SA でトイレタイム。ついでにカメラを持って「海と山の素晴らしい景観」のサービスエリアを楽しんだ。

別府湾 SA を出ると道は海岸線に向かってひたすら下り続けて、大分光吉 IC に 15 時 17 分着。何とか時間的には大丈夫そうな感じになってきた。国道 210 号線へ出て大分川に沿って下郡バイパスに入ればもうあと僅か。バイパスを離れて路地に入るとカーナビゲーションを「豊肥線の滝尾駅」にセットして慎重に進み、駅付近で「碓山公園」に再設定。碓山公園は住宅地を走る細い道の果てにあった。15 時 30 分に到着。

日没が迫る中で効率よく事を運ぶ必要があり、気が焦る。

紅葉した木の葉が散るジグザグに走る道を小走りで登っていくと熊野神社という立派な神社が姿を見せた。その僅か上に平坦で広い山頂が広がっており、赤い標識が「碓山 56m」と示している。三脚にカメラをセットしてシャッターチャンスを待つ人が二人いるだけの静かな頂上は、海拔 56m では勿体ないような素晴らしい景色。由布岳・鶴見岳を中心に特徴的な形の山々が左側に、国東半島と別府湾が右側に広がる大パノラマ。

碓山は約 9 万年前の阿蘇山の噴火による火砕流のなれの果てだと言われている。当初は海の中にあり、神武天皇が東征のおりに碓を下したという伝説もあり、「碓島」と言っただけらしい。現在でも資料を紐解くと碓島と書かれているし、公園の中に立つ説明の看板にも「おおいたの遺産 碓島」と書いてあった。時計を見ると 15 時 45 分、何とか 16 時前に登頂することができた。見応えのある景色を何枚もカメラに収めながらカメラを構えている地元の人と立ち話。どうやら夕暮れ時のシャッターチャンスを待っているようだった。この景色は日没の瞬間を見たくするような景色ではあるが、時刻が気になる。参道に戻って車の中から、碓山の東側の明野高尾に住む U さんに電話で報告した後で 16 時に神社を出発。往路を引き返して大分光吉 IC から大分自動車道に入ると今度は連続した登り勾配の連続。日出 JCT あたりからは日没に向かって走るようになるのでまぶしさと暑さで頭が霞んでくる。往路同様に、由布岳を皮切りに九重北端の山そして内陸の幾重にも重なる山なみ楽しみながら日没を追いかけて走る。それは「時との戦い」という言葉がぴったりするようで、やがて太陽が山の端に隠れると同時に闇と冷気が襲いかかってきた。



この景色は日没の瞬間を見たくするような景色ではあるが、時刻が気になる。参道に戻って車の中から、碓山の東側の明野高尾に住む U さんに電話で報告した後で 16 時に神社を出発。往路を引き返して大分光吉 IC から大分自動車道に入ると今度は連続した登り勾配の連続。日出 JCT あたりからは日没に向かって走るようになるのでまぶしさと暑さで頭が霞んでくる。往路同様に、由布岳を皮切りに九重北端の山そして内陸の幾重にも重なる山なみ楽しみながら日没を追いかけて走る。それは「時との戦い」という言葉がぴったりするようで、やがて太陽が山の端に隠れると同時に闇と冷気が襲いかかってきた。

踏 み 跡 <My Mountains>

鳥栖 JCT まで来るともう完全に暗闇で景色など楽しむべくもなく、行きかう車のヘッドライトを見送るだけになってしまった。夕方のラッシュ時間帯にかかってしまっただけで都市高速道路はやや混雑気味だったが、ガソリンを満タン給油した後住吉のニッポンレンタカーに 18 時 40 分に帰着することができた。

メーターを見たら走行距離は 450Km だった。今となれば、碓山の頂上でもう少しゆっくりすればよかったなと思ひもするが・・・、まずは 1 日で三県クリヤしたことを祝うのが先決。昨日見つけた東住吉通りの「かき川」に入って黒霧島のお湯割りで祝杯をあげた後、鯖の塩焼きでご飯。

以上